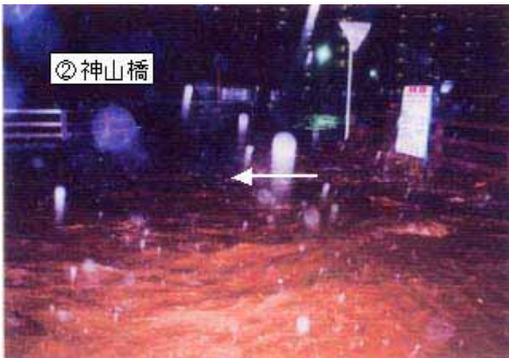


山王川広域(一般)河川事業の効果について



二級河川山王川は、流域の多くが平野部であり、宅地開発等の急激な都市化が進み、出水期には小田急線上流ではしばしば浸水被害が起きており、平成14年10月の台風21号の時にも浸水被害が起こり、ネック部の大雄山橋梁架替や小田急線下流までの改修促進を図る必要がある。

平成14年10月 台風21号 被災状況



降雨規模50mm/hにも対応することができるよう、平成16年度より、ネック部伊豆箱根鉄道大雄山線の橋梁架替を行う。これにより、この箇所の現況流下能力67m³/sが、改修後180m³/s(降雨規模50mm/s)となる。

